

智顓『四教義』研究ノート（1）

菅野博史

〔1〕はじめに

天台智顓の代表的著作といえば、『法華玄義』『法華文句』『摩訶止観』のいわゆる天台三大部を思い浮かべる人が多いと思われるが、これらが最終的には弟子の灌頂の手になることが判明した現在の研究状況においては、智顓の思想（灌頂を媒介としない）の直接的な研究をする場合にも、三大部を研究する場合にも、智顓の『維摩経』関連の著作の研究の重要性が高まっていると考える。このような問題意識から、筆者はかつて『『維摩経玄疏』の組織と梗概』¹⁾と題して、『維摩経玄疏』の構成と思想について考察したことがあり、さらに、『維摩経玄疏』の訳注にも取り組んでいる²⁾。

『維摩経玄疏』は、『維摩経』という特定の一経の解釈を主題としているが、その解釈の前提とも言うべき智顓独自の理論的準拠枠を詳しく明らかにすることにむしろ力点がある。その理論的準拠枠に当たるものが、四悉檀、三観、四教の思想であり、これらは相互に内的関係を有して智顓独自の仏教観を構成しており、智顓の思想の中でも最も重要なものであると思う。

さて、本稿で取り上げる『四教義』は、佐藤哲英氏の研究³⁾によれば、晋王広（後の隋の煬帝）に対する智顓の維摩経疏献上が都合3回にわたるうち、第1回目に献上された（開皇15年（595）の6月から7月の間）玄義10巻の離出本とされる。つまり、玄義十巻が離出されて、現行の『四教義』12巻（『大正新脩大蔵経』第46巻所収）、『三観義』2巻（『大日本統蔵経』2-4-1所収）と、散佚した『四悉檀義』となったと推定される⁴⁾。ちなみに、第2回目は開

皇17年3月から4月の間に、玄疏6巻、文疏8巻（『維摩經』巻上、仏国品第1の注釈）が献上されたが、これは智顛の希望によって、後に焼却されたとされる。第3回目は智顛の入寂後、開皇18年正月に、玄疏6巻、文疏25巻（『維摩經』巻中、仏道品第8までの注釈）が献上されたとされる。これが現行の『維摩經玄疏』6巻と『維摩經文疏』28巻（『大日本統藏經』1-27-5～28-2所収）の中の前の25巻である（後の3巻は灌頂の補遺）に相当する。

『四教義』という書名にある四教とは、言うまでもなく藏教・通教・別教・円教の化法の四教であり、釈尊の説法の高低浅深を四段階に分類したものである。この四教を規定する基準は、空仮中の三観にあるので、筆者は智顛の思想面での最も重要な貢献がこの四教、三観にあると考える。今は、『四教義』を取り上げ、資料に即しながら、その内容について考察を加えていこうと思う。

今回は、『四教義』の構成を明らかにするため、仏典解釈学の伝統的な方法である「分科」（経文を細かく段落に分けて、それぞれの段落の要旨を記す方法）を行なう。次回以降は、分科表にしたがって、内容の分析を進めたい。分科表に記した番号や、内容に対する説明表現は、原則的に『四教義』の指示にしたがっている。ただし、独自に分けた所も少しあり、説明表現も『四教義』自身が一定しない箇所もあるので、適当な表現を選択したり、独自に表現を改めた箇所もある。

なお、分科表に「4.23222=4.24 料簡 (751 b)」という記載があるが、これは、本来、「4.23222 料簡」と「4.24 料簡」とに区別されるべきであるが、『四教義』本文では誤って混合してしまっている例である。また、「(751 b)」などの記号は、『大正新脩大藏經』第46巻の頁・段を示す。上段を a, 中段を b, 下段を c と記す。

注

- 1) 拙稿『『維摩經玄疏』の組織と梗概』（『多田厚隆先生頌寿記念論文集・天台教学の研究』所収、1990.3, 山喜房仏書林）pp.131-158を参照。
- 2) 拙訳『『維摩經玄疏』訳注（一）』（『大倉山論集』40.1996.12）pp.236-261を参照。また、『『維摩經玄疏』訳注（二）』（『大倉山論集』43.1999.3予定）を参照。

- 3) 佐藤哲英『天台大師の研究』（1961, 百華苑）pp. 416-448を参照。
- 4) 湛然『法華文句記』（大正34・59bを参照）の紹介する調卷によれば、『四教義』が6巻、『三觀義』が2巻、『四悉檀義』が2巻である。

〔2〕『四教義』12巻の分科表

卷第1

0 小序

- 1.1 四教の名を釈す（721 a）
 - 1.11 正しく四教の名を釈す（721 a）
 - 1.11 三藏教の名を釈す（721 a）
 - 1.12 通教の名を釈す（721 c）
 - 1.13 別教の名を釈す（722 a）
 - 1.14 円教の名を釈す（722 b）
- 1.2 覈定（722c）
 - 1.21 三藏教を覈定す（722 c）
 - 1.22 通教を覈定す（722 c）
 - 1.23 別教を覈定す（723 a）
 - 1.24 円教を覈定す（723 a）
- 1.3 引証（723 a）
 - 1.31 文無く名を立て義を作して、以て經教を通ず（723 a）
 - 1.32 別して經論を引いて四教を証す（723 b）
 - 1.33 総じて經論を引いて四教を証す（723 c）
- 1.4 料簡（723 c）
- 1.5 經論の四教を用うる事、多少同じからず（725 a）

卷第2

- 2 所詮を辨ず（725 b）

- 2.1 四諦に約して所詮を明かす (725 b)
 - 2.11 所詮の四諦の理を明かす (725 b)
 - 2.111 生滅の四諦の理に約して所詮を明かす (725 c)
 - 2.112 無生の四諦の理に約して所詮を明かす (726 a)
 - 2.113 無量の四諦の理に約して所詮を明かす (726 a)
 - 2.114 無作の四諦の理に約して所詮を明かす (726 b)
 - 2.12 能詮の教を明かす (726 c)
 - 2.121 三蔵教は生滅の四諦の理を詮す (726 c)
 - 2.122 通教は無生の四真諦の理を詮す (726 c)
 - 2.123 別教は無量の四諦の理を詮す (726 c)
 - 2.124 円教は無作の四実諦の理を明かす (727 a)
 - 2.13 経論に対す (727 a)
 - 2.131 経に対す (727 a)
 - 2.132 論に対す (727 a)
- 2.2 三諦に約して四教の所詮の理を明かす (727 c)
 - 2.21 三諦の所詮の理を明かす (727 c)
 - 2.22 能詮の四教を明かす (728 a)
 - 2.23 経論に対す (728 a)
- 2.3 二諦に約して所詮の理を明かす (728 a)
 - 2.31 所詮の理を明かす (728 a)
 - 2.32 能詮の四教を明かす (728 b)
 - 2.33 経論に対す (728 b)
- 2.4 一諦の理に約して所詮を辨ず (728 b)
 - 2.41 所詮の理を明かす (728 b)
 - 2.42 能詮の経を明かす (728 c)
 - 2.43 経論に対す (728 c)

- 3 四門入理を明かす（729 a）
 - 3.1 略して四門の相を辨ず（729 a）
 - 3.11 三蔵教の四門を明かす（729 b）
 - 3.12 通教の四門を明かす（729 b）
 - 3.13 別教の四門を明かす（729 c）
 - 3.14 円教の四門を明かす（729 c）
 - 3.2 正しく四門入理を明かす（730 a）
 - 3.21 三蔵の四門，通教の四門は同じく偏真の理に入る（730 a）
 - 3.22 別教の四門，円教の四門は同じく中道実相真性の理に入る（730 a）
 - 3.3 四悉檀を用て四門の教を起こす（730 b）
 - 3.31 四悉檀は三蔵教の四門を起こす（730 b）
 - 3.311 四悉檀を用て有門を起こす（730 b）
 - 3.312 四悉檀を用て空門を起こす（730 b）
 - 3.313 四悉檀を用て有無門を起こす（730 c）
 - 3.314 四悉檀を用て非有非無門を起こす（730 c）
 - 3.4 十法に約して四門の義を成ず（730 c）
 - 3.41 十法もて三蔵教の四門を成ず（731 a）
 - 3.411 十法を用て毘曇の有門，見有得道を成ず（731 a）
 - 3.4111 但だ正因縁法を知りて，見有得道を成ず（731 a）
 - 3.4112 真正の発心もて見有得道を成ず（731 a）
 - 3.4113 止観進行して見有得道を成ず（731 a）
 - 3.4114 破法遍もて見有得道を成ず（731 a）
 - 3.4115 善く通塞を知りて見有得道を成ず（731 a）
 - 3.4116 善く三十七品を修して見有得道を成ず（731 a）
 - 3.4117 対治助開して見有得道を成ず（731 a）
 - 3.4118 善く次位を知りて見有得道を成ず（731 a）
 - 3.4119 強軟の両賊を安忍して見有得道を成ず（731 b）
 - 3.41110 順道法愛不生にして見有得道を成ず（731 b）

- 3.412 十法もて空門を成ず (731 b)
- 3.413 十法もて有空門を成ず (731 b)
- 3.414 十法もて非空非有門を成ず (731 b)
- 3.42 十法もて通教の四門を成ず (731 b)
- 3.43 十法もて別教の四門を成ず (731 b)
- 3.44 十法もて円教の四門を成ず (731 b)
- 3.5 信法の両種の四門同じからざるを明かす (731 a)

卷第 4

- 4 四教の位に約して、浄無垢称の義を分別す (731 c)
 - 4.1 三蔵教の位に約して、浄無垢称の義を明釈す (731 c)
 - 4.11 略して三乗を開く (732 a)
 - 4.12 三蔵教の三乗の位同じからざるを明かす (732 b)
 - 4.121 三蔵教の声聞乗の位を明かす (732 c)
 - 4.1211 七賢位を明かす (732 c)
 - 4.12111 五停心観を明かす (733 b)
 - 4.12112 別相四念処の位を明かす (734 b)
 - 4.121121 念処は是れ仏法入道の要門なるを明かす (734 b)
 - 4.121122 略して四念処の名を釈す (734 b)
 - 4.1211221 身念処 (734 c)
 - 4.1211222 受念処 (734 c)
 - 4.1211223 心念処 (734 c)
 - 4.1211224 法念処 (734 c)
 - 4.121123 三種の念処の不同を分別するを明かす (734 c)
 - 4.121124 三種の六師を破せんが為めの故に、仏は四念処を説く (735 a)

卷第 5

- 4.121125 三種の念処は三種の羅漢を成ずるを明かす (735 b)

- 4.121126 念処の觀法を明かす（735 c）
- 4.1211261 性念処（735 c）
- 4.12112611 破愛性念処（735 c）
- 4.121126111 身念処（735 c）
- 4.121126112 受念処（736 a）
- 4.121126113 心念処（736 a）
- 4.121126114 法念処（736 a）
- 4.12112612 破見性念処（736 a）
- 4.1211262 共念処（737 b）
- 4.1211263 縁念処（737 b）
- 4.121127 別相四念処の位を明かす（737 b）
- 4.12113 総相四念処の位を明かす（737 c）
- 4.12114 煖法位を明かす（738 a）
- 4.12115 頂法位を明かす（738 b）
- 4.12116 忍法位を明かす（738 b）
- 4.12117 世第一法位を明かす（738 c）

卷第 6

- 4.1212 七聖位を明かす（739 a）
- 4.12121 隨信行位を明かす（739 b）
- 4.12122 隨法行位を明かす（739 b）
- 4.12123 信解位を明かす（739 b）
- 4.12124 見得位を明かす（740 a）
- 4.12125 身証位を明かす（740 a）
- 4.12126 時解脱羅漢を明かす（740 b）
- 4.12127 不時解脱羅漢を明かす（740 c）
- 4.122 三藏教の辟支仏乗の位を明かす（741 b）
- 4.1221 翻譯（741 b）

(162)

- 4.12211 翻名 (741 b)
- 4.12212 解釈 (741 b)
- 4.122121 独覚を明かす (741 b)
- 4.122122 因縁覚を明かす (741 b)
- 4.1221221 三世の十二因縁を明かす (741 b)
- 4.1221222 二世の十二因縁を明かす (741 c)
- 4.1221223 一世の十二因縁を明かす (742 a)
- 4.1222 大小を分別するを明かす (742 b)
- 4.1223 宿縁を明かす (742 b)
- 4.1224 観法を明かす (742 c)
- 4.12241 愛に属す十二因縁を観ず (742 c)
- 4.122411 推尋 (742 c)
- 4.122412 観破 (742 c)
- 4.12242 見に属す十二因縁を観ず (743 a)
- 4.122421 推尋 (743 a)
- 4.122422 観破 (743 a)
- 4.1225 料簡 (743 b)

卷第 7

- 4.123 三蔵教の菩薩の位に約して、以て浄無垢称の義を釈す (743 c)
- 4.1231 翻訳 (743 c)
- 4.1232 菩薩の位を辨ず (744 a)
- 4.12321 菩提心を発す (744 a)
- 4.12322 菩薩道を行ず (744 b)
- 4.12323 三十二相業を種う (744 c)
- 4.12324 六波羅蜜満ず (744 c)
- 4.12325 一生補処に住す (745 b)
- 4.12326 兜率陀天に生ず (745 b)

4.12327 下生して成道す (745 c)

4.1233 料簡 (746 b)

4.1234 三蔵教の位に約して、淨無垢称の義を釈す (746 c)

卷第 8

4.2 通教に位を辨ずるに約して、以て淨無垢称の義を釈す (747 a)

4.21 略して半満を明かし、位に同・不同有るを辨ず (747 b)

4.22 通教に約して三乗を開く (747 c)

4.23 通教の三乗の位を明かす (748 b)

4.231 三乗共行の十地の位を明かす (748 b)

4.2311 名を標す (748 b)

4.2312 解釈 (748 b)

4.23121 乾慧地を釈す (748 b)

4.231211 五停心 (748 b)

4.2312111 巧拙不同を分別す (748 b)

4.2312112 正しく五停心の位を明かす (748 b)

4.23121121 直の義を釈す (748 b)

4.23121122 善の義を釈す (748 c)

4.2312113 真偽を簡ぶ (749 a)

4.231212 別想四念処乾慧地の位を明かす (749 b)

4.231213 総想四念処乾慧地の位を明かす (749 c)

4.23122 性地 (750 a)

4.23123 八人地 (750 a)

4.23124 見地 (750 a)

4.23125 薄地 (750 b)

4.23126 離欲地 (750 b)

4.23127 已辦地 (750 b)

4.23128 辟支仏地 (750 b)

- 4.23129 菩薩地 (750 b)
- 4.231210 仏地 (750 b)
- 4.232 名別義通を簡ぶ (750 b)
- 4.2321 通教の位を用いて別の位を立つるを明かす (750 b)
- 4.2322 別教の位の名を用う (751 b)
- 4.23221 正しく名別義通に約して位を辨ず (751 b)
- 4.23222=4.24 料簡 (751 b)
- 4.25 通教に位を明かすに約して、淨無垢称の義を釈す (751 c)

卷第9

- 4.3 別教に位を明かすに約して、淨無垢称の義を釈す (751 c)
- 4.31 経論に別教の菩薩の位を出だすこと同じからず (752 a)
- 4.311 位数同じからず (752 a)
- 4.312 断伏の高下同じからず (752 a)
- 4.313 諸法門に対すること同じからず (752 a)
- 4.32 総じて別教の菩薩の位を明かす (752 b)
- 4.321 『瓔珞経』に約して、位数を明かす (752 b)
- 4.322 『大品経』の三観に約して位を合し、断伏の高下を明かす (752 c)
- 4.323 『涅槃経』に五行を明かすに約して位を合す (753 a)
- 4.33 歴別解釈 (753 a)
- 4.331 十信心を明かす (753 a)
- 4.3311 菩提心を発す (753 a)
- 4.3312 菩薩道を行ず (753 b)
- 4.33121 戒聖行 (753 b)
- 4.33122 定聖行 (753 c)
- 4.33123 慧聖行 (754 a)
- 4.332 十住位を明かす (754 b)
- 4.333 十行位を明かす (754 c)

4.334 十廻向位を明かす (755 a)

卷第10

4.335 十地位を明かす (755 c)

4.3351 初歡喜地

4.33511 二十五三昧を得る聖行成ずるを明かす (756 a)

4.335111 二十五三昧の名を釈す (756 a)

4.3351111 時に随いて名を立つ (756 a)

4.3351112 便に随いて名を立つ (756 a)

4.3351113 対治に随いて名を立つ (756 a)

4.3351114 理に随いて名を立つ (756 a)

4.335112 二十五三昧を修するを明かす (756 a)

4.3351121 無垢三昧 (756 a)

4.33511211 業結を明かす (756 a)

4.33511212 三昧を用て治破す (756 a)

4.33511213 三昧を結成す (756 b)

4.33511214 慈悲もて有を破す (756 b)

4.3351122 不退三昧 (756 b)

4.3351123 心樂三昧 (756 b)

4.3351124 歡喜三昧 (756 c)

4.3351125 日光三昧 (756 c)

4.3351126 月光三昧 (757 a)

4.3351127 熱焰三昧 (757 a)

4.3351128 如幻三昧 (757 a)

4.3351129 不動三昧 (757 b)

4.33511210 難伏三昧 (757 b)

4.33511211 悅意三昧 (757 b)

4.33511212 青色三昧 (757 b)

- 4.33511213 黄色三昧 (757 c)
- 4.33511214 赤色三昧 (757 c)
- 4.33511215 白色三昧 (757 c)
- 4.33511216 種種三昧 (757 c)
- 4.33511217 双三昧 (757 c)
- 4.33511218 雷音三昧 (757 c)
- 4.33511219 霖雨三昧 (757 c)
- 4.33511220 如虚空三昧 (757 c)
- 4.33511221 照鏡三昧 (757 c)
- 4.33511222 無礙三昧 (757 c)
- 4.33511223 常三昧 (757 c)
- 4.33511224 樂三昧 (758 a)
- 4.33511225 我三昧 (758 a)
- 4.335113 外用もて物を利するを明かす (758 a)
- 4.3351131 隱の利益 (758 a)
- 4.3351132 顯の利益 (758 b)
- 4.33512 梵行を明かす (758 b)
- 4.33513 天行を明かす (758 b)
- 4.33514 嬰兒行を明かす (758 c)
- 4.33515 病行を明かす (759 a)
- 4.3352 離垢地 (759 b)
- 4.3353 明地 (759 b)
- 4.3354 焰地 (759 b)
- 4.3355 難勝地 (759 b)
- 4.3356 現前地 (759 b)
- 4.3357 遠行地 (759 b)
- 4.3358 不動地 (759 b)
- 4.3359 善慧地 (759 b)

- 4.33510 法雲地（759 b）
- 4.336 等覺地を明かす（759 b）
- 4.337 妙覺地を明かす（759 c）
- 4.34 別教の位に約して、淨無垢稱の位を釈す（760 a）

卷第11

- 4.4 円教の位を明かすに約して、淨無垢稱の義を釈す（760 a）
- 4.41 別円両教を簡んで、位の不同を明かす（760 b）
- 4.411 無明を断ずるに約して、高下の不同を判ず（760 b）
- 4.412 界内・界外の見思・無明を断ずること同じからざるに約す（760 b）
- 4.413 断・不断の不同に約す（760 c）
- 4.414 法門の別円の簡別に約す（761 a）
- 4.415 位の通・不通の簡別に約す（761 a）
- 4.42 正しく円教の位を明かす（761 a）
- 4.421 十信位（761 b）
- 4.4211 聞法生信を明かす（761 b）
- 4.4212 信に因りて修行するを明かす（761 c）
- 4.42121 四種三昧（761 c）
- 4.42122 十法（761 c）
- 4.421221 善く思議・不思議の因縁を識る（761 c）
- 4.421222 真正の発心を明かす（761 c）
- 4.421223 菩提の道を行じて、止觀を勤修するを明かす（762 a）
- 4.421224 諸法を破すること遍きを明かす（762a）
- 4.421225 善く通塞を知る（762 a）
- 4.421226 善く道品を修す（762 a）
- 4.421227 対治の助道もて、諸波羅蜜を修す（762 a）
- 4.421228 善く次位を識る（762 a）
- 4.421229 安忍成就す（762 b）

(168)

- 4.4212210 順道法愛生ぜず (762 b)
- 4.4213 十法を修するに因りて、十信心に入るを明かす (762 b)
- 4.4214 経説の不同を明かす (762 c)
- 4.422 十住位 (762 c)
- 4.4221 正しく初発心住を明かす (763 a)
- 4.42211 三種心発 (763 a)
- 4.42212 三徳涅槃 (763 a)
- 4.4222 経説の不同を明かす (763 a)
- 4.4223 初発心の功徳を明かす (763 b)
- 4.4224 類して九住を釈す (763 c)
- 4.423 十行位 (763 c)
- 4.424 十廻向位 (763 c)
- 4.425 十地 (764 a)

卷第12

- 4.43 衆経を引いて証す (764 a)
- 4.44 料簡 (765 a)
- 4.45 円教の位に約して、浄無垢称の義を釈す (765 b)
- 4.5 五味の譬えに約して、四教の位を明かす (765 c)
- 4.6 衆経に四教の位を明かすこと多少不同なるを辨ず (765 c)
- 5 権実を明かす (766 a)
- 5.1 略して権実を明かす (766 a)
- 5.11 一切は非権非実なるを明かす (766 a)
- 5.12 一切皆権を明かす (766 a)
- 5.13 一切皆実を明かす (766 a)
- 5.14 一切の仏法は非権非実なれども、而も権実なるを明かす (766 a)
- 5.2 位を格るを明かす (766 b)
- 5.21 三蔵教の位に約して、後の三教を格る (766 b)

- 5.211 通教を格る（766 b）
- 5.212 別教を格る（766 b）
- 5.213 円教を格る（766 b）
- 5.22 通教の位を用て、後の二教の位を格る（766 c）
- 5.221 別教を格る（766 c）
- 5.222 円教を格る（766 c）
- 5.23 別教もて円教の位を格る（766 c）
- 5.3 興廢を明かす（767 a）
- 5.31 權教に興有り、廢有るを明かす（767 a）
- 5.311 三藏教の興廢を明かす（767 a）
- 5.312 通教の興廢を明かす（767 b）
- 5.313 別教の興廢を明かす（767 b）
- 5.32 円教は但だ興りて廢せざるを明かす（767 b）
- 6 觀心に約して四教を明かす（767 c）
- 6.1 觀心に約して三藏教を明かす（767 c）
- 6.2 觀心に約して通教を明かす（768 a）
- 6.3 觀心に約して別教を明かす（768 a）
- 6.4 觀心に約して円教を明かす（768 a）
- 7 諸經論を通ず（768 a）
- 7.1 諸經論に対す（768 a）
- 7.11 經に対す（768 a）
- 7.12 論に対す（768 b）
- 7.121 通じて經論を申ぶ（768a）
- 7.1211 通じて小乘經を申ぶ（768 a）
- 7.1212 通じて大乘經を申ぶ（768 a）
- 7.122 別して經論を申ぶ（768 a）
- 7.1221 別して小乘經を申ぶ（768 a）
- 7.1222 別して大乘經を申ぶ（768 a）

(170)

7.2 正しく四教を用て通じて此の経を釈するを明かす (768 b)

7.21 此の経の五義を釈す (768 b)

7.22 此の経の文を通ず (768 c)

7.221 室外の四品を通ず (768 c)

7.222 室内の六品を通ず (768 c)

7.223 出室の四品を通ず (768 c)